

乗合タクシーの改良箇所

高齢者や障害者への調査から

- ・乗降の際に手すりがない
- ・車内移動の際につかまる箇所が必要
- ・前席との間隔がせまく、奥の席に行けない
- ・車いす固定をすることが少ない

事業者への調査から

- ・バリアフリー基準適合のため改造費用が発生
- ・改造によるメンテナンスの手間、運行時の不便さあり

改善方策案

- ・足腰に障害を持つ方を対象
- ・乗降口の手すり改良
- ・通路幅の確保
- ・つかまる場所の考慮
- ・車いすの簡易固定装置
- ・改造した標準車両

上記標準仕様のあり方の検討





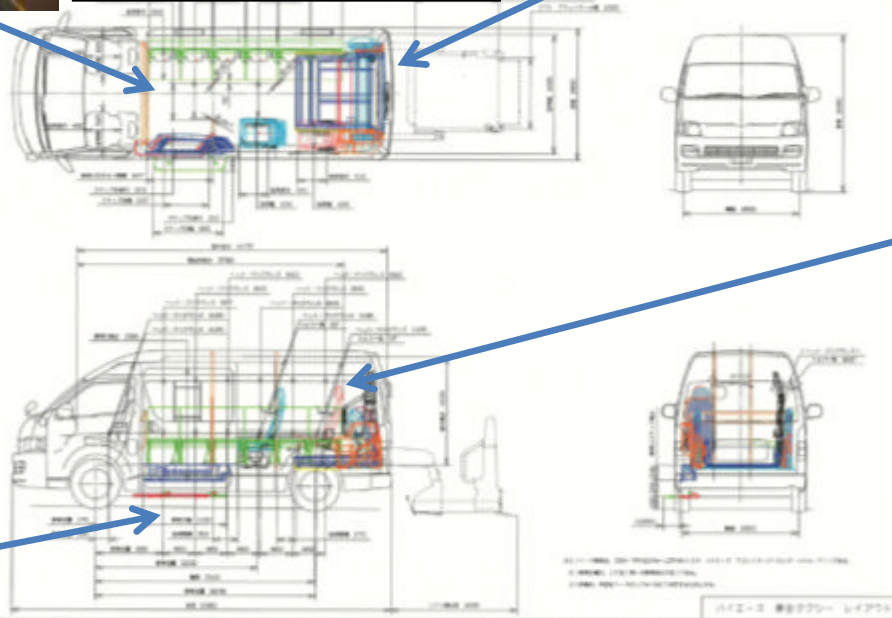
- ・横向きシート
- ・2席ごとに縦手すり

- ・シート配列は良好
- ・姿勢保持に工夫が必要



- ・車いす簡易固定装置
- ・シート2席を立上げ

- ・特に問題なし



- ・スムーズに移動できる室内高さ

- ・中腰に見合った手すりが必要



- ・乗降口左右に手すり
- ・ステップ高さの差は30mm以内

- ・ステップが高い
- ・車外の手すりが必要

その他

- ・手すりの太さ・配置を再検討
- ・タクシーとしてのイメージ作り

* 品評会の概要については参考資料を参照

枠内は体験乗降による主なコメント